

まとめるとこんな感じ



<例題>

次の数を小さい順に並べ、第一四分位数、第三四分位数を答えなさい。

6. 8. 10. 4. 7. 1. 5. 3. 9. 2.

11が無くなっただけじゃん。
楽勝!



1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10.



あれ?真ん中が、...
無い!

数が偶数個ある場合、ぴったり半々に分かれちゃうから、
「ど真ん中」が無い! ($\overline{\quad\quad}$;)



そんな時は「5」と「6」の真ん中、つまり **「5.5」** を
中央値とするんだ!